

以前から構想を練っていたこともあり、設計にはさほど時間がかからなかったという。「家族構成はあまり意識していません。誰であつても暮らして、使い方をイメージできるような空間を目指しています」と伊礼さん。2階の勾配天井を生かした吹抜け空間の下には、窓際の造付けソファや、2畳の畳コーナー、壁際にはデスクスペースが設けられ、1つの空間の中で思い思いの過ごし方ができるように工夫されている。

1階リビングに吹抜けを設けると2階の床面積を使うことになるが、2階であれば小屋裏空間を吹き抜けにしてリビングにポリウム感をもたせながら、床面積も減らすことなく済む。小さな家では、2階リビングは有効な手法の1つといえる。

このモデルハウスではさらに、関西間と関東間を組み合わせる3間×5間のグリッドを設定している点にも注目したい。東西の長手方向は関東間(909mmグリット)、南北の短手方向は関西間(960mmグリット)を採用し、短手の幅をわずかに広くしている。「短手を関西間にする」と

段や廊下がゆつたりとするため、廊下にカウンターをつくったり、アンティーク家具を置いたりできるようにします。少し広げるだけで狭い場所が楽しくなるので、郊外や地方で建てる時には、この手法を取り入れていきます(伊礼さん)。

壁の中は「長年使って信頼できるもの」を使う

2階の大空間の質を高めるために、断熱材にはセルロースファイバー断熱材「デコスドライ工法」(デコス)を採用している。「断熱材は、工務店から指定がない限り、セルロースファイバーを使います。断熱性能だけでなく、調湿効果で壁の中の環境を整えてくれるし、遮音性も高いので外からの騒音も少なく空間の質も上がります。長年使ってきて、その効果を実感しているのも、安心して使っています(伊礼さん)。外皮性能はUA値0・38(G2レベル)でこの地域では十分な断熱性を確保している。

冷暖房は前川建設から全館空調の要望があり、「パッシブエアコン」(OMソーラー)を採用した。床下を使った空調方法なので、防蟻は人体に安全なホウ酸処理「ポロンdeガード」(日本ボ

レイト)を選択。「独立したばかりのころ、コスト削減のため自分で防蟻薬剤を塗ったことがあります。外で作業していたにもかかわらず、気分がひどく悪くなつた経験から、以後は体に安心なものを選ぶようになりまし。防蟻用の墨を塗ったことでもあります。が、しばらくして驚いたことに、墨を塗った部分だけをシロアリが食べていたのです。そんなことがあり、もう10年以上、防蟻にはホウ酸を使用しています。ホウ酸は水溶性のため、万が一、人体に入っても排出されますが、体内の水分をうまく浄化できないシロアリは死に至ると聞きました。アメリカカンザイシロアリにも効果があるので、心配なときには躯体全部に塗ることもあります。このモデ

ルハウスでは屋根(野地)を含めて全体に塗っています。人体への安全性は絶対条件です(伊礼さん)。

今回、5.0のモデルハウスの建設を決めた前川建設・住宅事業部チーフオフィサーの前川桂恵三さんは、「この地域では『家は40坪ほしい』と言われることが多いですが、広さを重視するあまり、空間を使いきれていないことも。3×5間のサイズ感を知ってもらいながら、造作にこだわった豊かな住まいを提案していきたい」と話す。モデルハウスの完成は2022年9月、小屋や店舗棟も含めて広場全体が完成するのは年末になる見込みとのこと。プロジェクトの完成を楽しみに待ちたい。



デコスドライ工法は、水や接着剤を使用せず、通気性のあるポリエステル不織布を張って、その中にセルロース断熱材を充填する。専門業者による責任施工

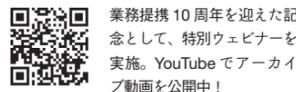


ポロンdeガードは、責任施工によるホウ酸防腐防蟻処理。安全性と効果の持続性に優れ、高性能住宅の劣化対策に適している。長期優良住宅対応



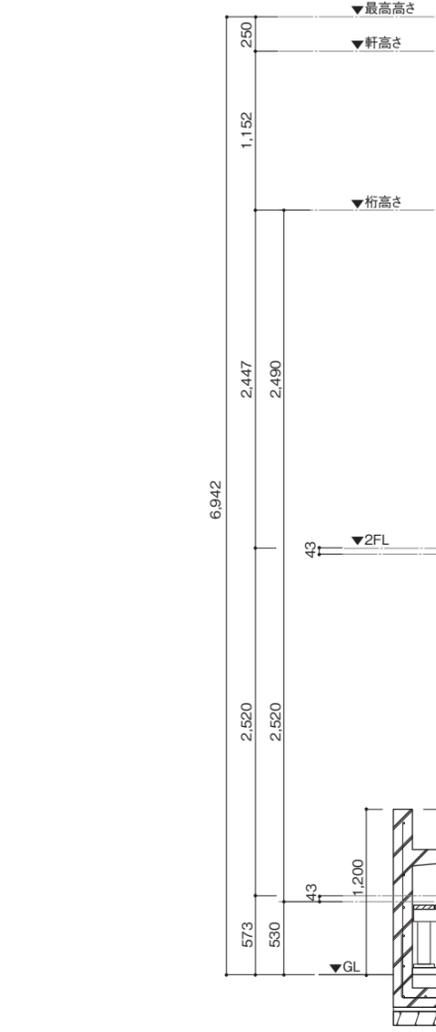
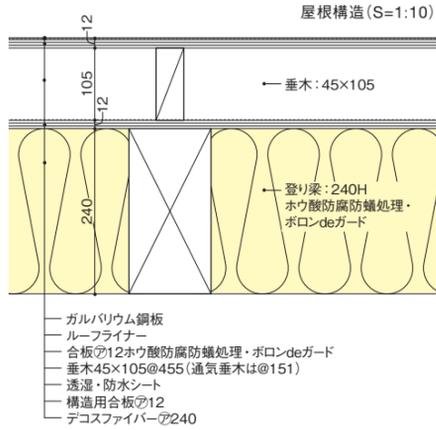
デコレイトとは?

セルロースファイバー断熱材メーカーのデコスと、木材劣化対策・防腐防蟻処理の日本ボレイトの業務提携ブランド。ともにホウ酸を使用していることから「ホウ酸つながり」のコラボセミナー等の活動を通して「安全・安心・健康・長持ち」の家づくりを訴求。

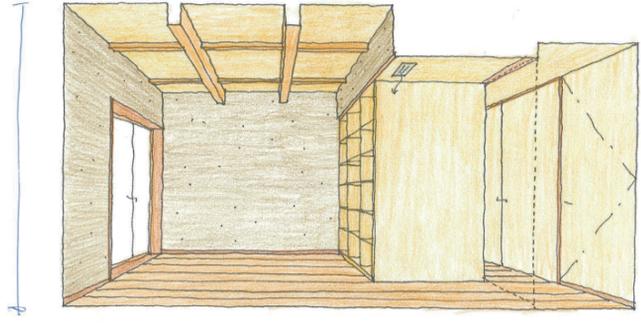


「断熱材は、工務店から指定がない限り、セルロースファイバーを使います。断熱性能だけでなく、調湿効果で壁の中の環境を整えてくれるし、遮音性も高いので外からの騒音も少なく空間の質も上がります。長年使ってきて、その効果を実感しているのも、安心して使っています(伊礼さん)。外皮性能はUA値0・38(G2レベル)でこの地域では十分な断熱性を確保している。

冷暖房は前川建設から全館空調の要望があり、「パッシブエアコン」(OMソーラー)を採用した。床下を使った空調方法なので、防蟻は人体に安全なホウ酸処理「ポロンdeガード」(日本ボ



「短手を関西間にする」と階



スケッチで納まりを確認

伊礼智設計室では、プランが決まったら詳細を図面に落とし込む前に、空間をスケッチで描き起こしている。図面上でのみ考えていると、実際に現場では納まらないことも出てくるため、スケッチで納まりを確認してから図面に落とし込むという。このページに掲載しているスケッチは、すべて所員の多田さんが描いたもの

